

地域に根ざした多様な活動 ① ～自然の中で育む大台っ子～

大台町子どもしゃくり大会・しゃくり教室

近年、子どもたちが川へ遊びに行く機会が減少し、宮川で行われる漁法、遊びは消滅の危機にあります。大台町に残る伝統漁法「しゃくり」を伝承するため、若い世代が年長者から教わり、技術の継承を目指す事業です。宮川上流漁業協同組合さんの協力のもと毎年実施しています。体験を通して、川への親しみと関心を持ち、地域の自然や文化との繋がりを深めてもらいたいと思います。



大台町内の学校の体験学習

町内 4 小学校、2 中学校の地域学習への協力を行っています。地域の自然や文化、産業、歴史、人、食等、各学校、各学年で様々なテーマの学習を通して、地域を知り、人と関わり、地域への愛着を育てることを目的に体験学習を行っています。同じ町内でもそれぞれに特色があり、その土地特有の体験があります。また、大台町全域にも目を向け横断的に地域を学習しています。



地域の
伝統文化の
継承

豊かな
自然体験

自然の中で育む大台っ子

自分の根っこを支える愛すべき故郷をもち、明日の未来を支え、歩んでいける「地域を愛する人」を育てることを目標に大台町と連携して様々な事業を行っています。

地域の
産業体験

地域を知る
地域学習

人と人をつなぐ
体験

小学生が創る未来の森

大台町では、かつては林業が盛んで林業従事者も多くいましたが、現在は林業の衰退とともに放置された山林が増え、担い手も少なくなっています。そこで、大台町の2つの小学校の子どもたちが地域の現状や社会的な問題について学習し、地域の環境や産業の未来を考える総合学習を行っています。



山調べ→間伐体験→搬出体験→市場見学→木工作

大台町サマーキャンプ

夏休みに町内小学校の5泊6日の交流キャンプを開催しています。大台町には4校の小学校がありますが、交流の機会は少なく、学校では少人数の人間関係が変わることなく6年間を過ごします。

そんな子どもたちにとってのキャンプは、新しい人間関係を築く練習の場となります。また、普段とは違う環境で様々な体験を行うことで、家庭や地域、身近な環境についてふりかえることができる体験です。



大台町野外体験保育の推進

大台町内4園で、自然体験を積極的に取り入れようという気運が高まり、2019年度から「野外体験保育の推進」事業に取り



組んでいます。スタッフを派遣したり、研修会を開いて後押ししています。幼児期の自然体験が子どもたちの成長に与えるプラスの効果は計り知れず、取り組みの本格化と、他地域への波及を目指しています。

この活動は19-21年度に一般社団法人セブン・イレブン記念財団の助成を受けて実施、22年度からは自主事業として取り組んでいきます。

放課後子ども教室

放課後、家でゲームをしたり、習い事に通ったりする子どもが多い中、外遊びや仲間と過ごす時間を増やそうと、下校が早い水曜日の放課後を利用して、町内4小学校で自然体験、工作、地元のお菓子作りなど様々なテーマの体験活動を行っています。



地域の団体・地域の方の協力

「大杉谷せせらぎ会」に地域の旬の食材を使った美味しいご飯を提供していただいたり、「大杉谷地域活性化やったる会」に鮎焼きや五右衛門風呂焚きの先生をしていただく等、大台町内の様々な団体や個人の方に協力していただき、この地域ならではの充実した体験が実現できています。

